



まごころこめた

手づくり弁当

綴子・栄地区婦人民生委員の福祉弁当作りが3月2日行われました。一人暮らし老人や老人世帯に暖かくおいしい弁当を食べてもらいたいと始めたもので今年で三年目です。献立は節句にちなんで色ごはん。卵焼やニシンの甘煮など、どれも手づくりで堅い材料は使わず色合よく、風味豊かなボリュームある内容となっています。添えられたイチゴに春を待ちこがれる思いが感じられました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

	2月29日現在	(前月比)
総人口	24,725人	(1人増)
出生	7人	転入 48人
死亡	18人	転出 36人
男	12,014人	(9人減)
女	12,711人	(10人増)
世帯数	7,303世帯	(3世帯増)

定例町議会の報告



昭和63年3月定例町議会は、議員の改選期にあたるため、2月15日から23日までの9日間の日程で、招集を繰り上げて開催され、新年度の一般会計ほか、特別会計や条例改正などを本会議で可決して閉会しました。

出川町長の「昭和63年度施政方針」と可決されたあらましについて報告します。

昭和六十三年施政方針

昭和六十三年度の行財政は、引き続き厳しい状況下であり、商工圏域の見直し、農業情勢の展望、高齢化社会の到来、高速交通体系等二十一世紀に向けての課題が山積しております。

この時にあたり、行政の果す役割を見極めながら、行政機関として住民と接する職員一人ひとりに、行政サービス向上の意識を徹底するとともに、OA化による事務改善を推し進めるため所要の事務機器を導入し、電算処理業務の拡大を図り正確、迅速、親切をモットーに地方自治の充実発展と住民福祉の向上をより一層推進します。

更に、国・県の行政機関並びに各種団体等と連携をはかりながら、行政効果を高め「心豊かで明るく住みよいまち」を目指し、明日の鷹巣町をつくりあげるため「一人一役」の出発の年として位置づけ、現実を直視しながら、町の活性化と諸施策を着実に推進するよう懸命の努力をします。

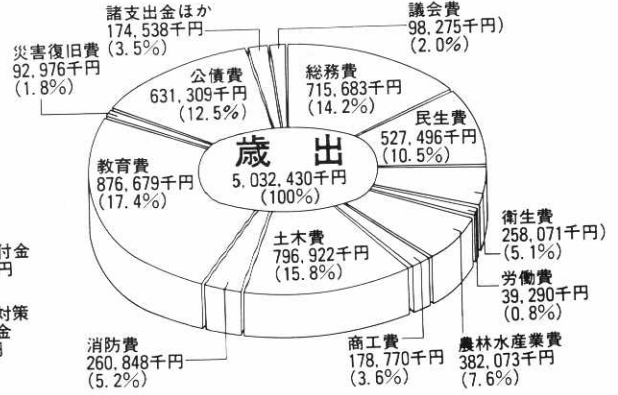
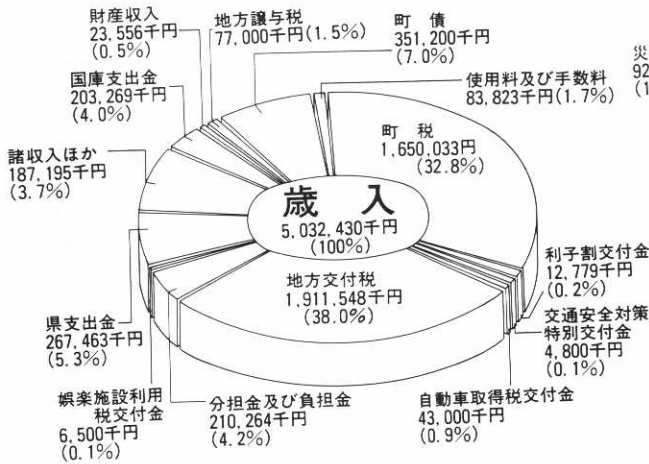
〔企画調整課〕…秋田内陸線は「秋田内陸線沿線町村振興対策協議会」の設立により、新たに観光、物産の面でも沿線町村が協力し合うことになりました。また、新車両の購入によるスピード化、JRへの接続など併せて新たな局面を迎えており、沿線町村共存共栄の立場から、万全の体制で六十四年四月の全線開通を迎える所存であります。

「大太鼓の館」建設構想については、現在、館構想のアイデアを募集し、審査に入る段階であります。基本設計と併せて土地の取得に入り、六十三年度、六十四年度の二カ年事業で実施したいと考えております。

企業誘致については、数社と接渉しておりますが、将来性、業種、労働力の確保等で難しい点があり、地場産業の育成と併せて努力してまいります。

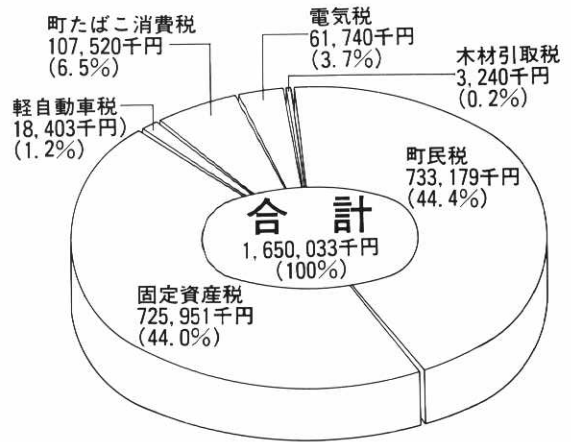
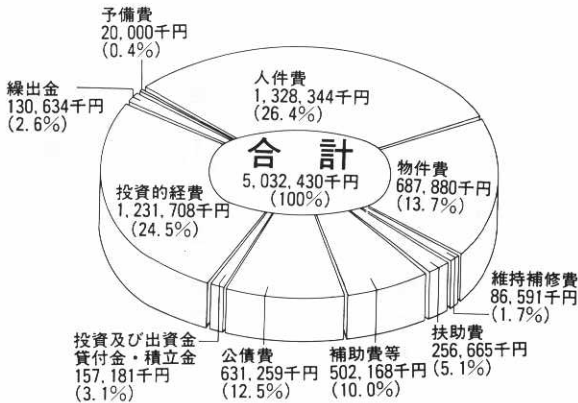
地籍調査事業では、中屋敷字家ノ沢外四二字、五、八八
。平方メートル関係集落横溝、中屋敷、脇神、堂ヶ岱、川口、

＝昭和63年度一般会計歳入歳出の内訳＝



＝性質別経費の内訳＝

＝町税の内訳＝



小ケ田)の一筆調査及び細部測量、面積計算作業まで実施します。

〔町民課〕…福祉行政については、社会的公平の原則を基調に行政と住民が一体となって推進しているところであり、老人福祉対策では、高齢化が進む中で積極的に社会参加を推進し、老人クラブ組織の強化拡充をはかるとともに豊かな経験と能力を活かし、明るく生きがいのある活動ができる環境作りに努めてまいります。また、介護を必要とする在宅老人に対しては、家庭奉仕員等を中心としたボランティア組織の援護体制の確立と強化をはかってまいります。

障害福祉については、更生協会の自主活動の強化と「ふれあい広場」の内容充実を図り社会参加の機会を促すよう努めてまいります。三年目を迎えたボランティア事業の推進については、町民の理解を深め、町民総ボランティアとして組織確立と充実をはかるよう努めてまいります。

保育所については、近年出生低下により定員四百八十人に対して、申込み園児数三百八十七人であり、定員の見直しを要するものと考えております。

防火活動については、火災予防思想の啓発と防火施設の充実に努めてまいります。

交通安全対策では、事故件数の漸減の状況にあります。が、「死者五〇〇日ゼロ運動」を中心に事故撲滅運動を推進してまいります。

〔保健課〕…町民の健康保持増進をはかるため、各種検診事業や保健活動の充実強化を目標に、町内各関係団体、事業所等を啓発しながら検診率の向上、保健思想の普及徹底を推進してまいります。

成人病対策については、検診体制の強化により、早期発見、早期治療に努め、保健指導員等の協力を求めながら、食生活改善、事後管理指導の徹底をはかってまいります。

広域救急医療対策事業として従来どおり大館北秋田医師会との協調を強めるほか、へき地の住民医療の利便を図るため、町内四カ所に開設しているへき地診療所の利用について意を注いでまいります。

63年度特別会計

国保会計は十三億五千万円余り伸び率一五・九%

老人保健会計も二・八%の

伸びで十三億円を超過

六十三年国民健康保険特別会計は、歳入歳出ともに、十三億五千三百二十万七千円で、前年度に比べ一五・九%の伸び率となっております。

予算の基礎となる国保加入世帯は三、八五〇世帯（加入率五二・七%）、被保険者数九・九〇〇人（加入率四〇・%）となっております。

（歳入）

▽保険税〓六億七十四万六千円（一世帯当り一五六、三三九円で前年度比七・三%増）
▽使用料及び手数料〓三十七万

▽国庫支出金〓五億六千三百三十一万六千円

▽療養給付費交付金〓一億四千二百三万六千円

▽県支出金〓四百万円

▽共同事業交付金〓八百二十六万三千円

▽財産収入〓二百六十九万八千円

▽繰入金〓一千円
▽繰越金〓三千万一千円

▽諸収入〓八百七十七万六千円

（歳出）

▽総務費〓二千七百五十九万三千円

▽保険給付費〓九億一千五百六十一万七千円（予算総額の六七・七%）内訳は、一般被

保険者療養給付費六億一千八百三十三万六千円、退職被保

険者等療養給付費一億九千九百四十五万、審査支払手数料三百四十三万二千円、一般

被保険者高額療養費六千七百十八万円、退職被保険者等高

額療養費一千七百四十一万九千円、助産費六百五十万円、

葬祭費三百三十万円、

▽老人保健拠出金〓三億六千六百九十三万二千円

▽共同事業拠出金〓九百二十万五千円

▽保健施設費〓五百六万六千円

▽基金積立金〓二百五十二万一千円

▽公債費〓一千円

▽諸支出金〓百二十七万二千円

▽予備費〓二千五百万円

各種特別会計

■老人保健会計

歳入歳出それぞれ十三億三千七百三十四万九千円で、前年度比二・八%の伸びとなります。

（歳入）

▽支払基金交付金〓九億三千六百七十二万円

▽国庫支出金〓二億六千六百三十二万円

▽県支出金〓六千六百五十八万円

▽繰入金〓六千七百七十二万一千円

▽繰越金〓一千円

▽諸収入〓七千円

（歳出）

▽医療諸費〓十三億三千七百三十四万三千円、内訳は、医

療費十三億三千六百十万円、審査支払手数料五百七十四万

生活様式の多様化、高度化に伴って増大するゴミ、し尿等の生活廃棄物対策については、収集体制、処理施設の整備充実をはかってまいります。

国民健康保険事業については、退職者医療制度に引き続き、国・県・町の負担による保険基盤の制度改正が予定されております。加えて、国保加入者の高齢化の進行による医療費の増嵩など厳しい運営が予測されております。このような情勢を踏まえ、制度の改善強化、医療の適正化対策を推進するとともに、加入者負担の公平をはかるため課税の適正、収納率の向上、保健施設活動の充実強化に努めてまいります。

（農林課）…基幹産業である農業の盛衰が本町の町勢に与える影響は大きく、その伸長策について、農家、農業団体、行政等それぞれが持っている機能を充分活かしつつ、次の重点施策を推進してまいります。

第一に、米の過剰基調の中で消費者ニーズに合った米づくりが求められているにもかかわらず、本町農家は依然として多収品種志向が強く、農協等と連絡を密にして「うまい米」「売れる米」づくり運動と農家自身の米消費拡大をはかりながら、強力に推進してまいります。

第二に、二年目に入った水田農業確立対策は、米の過剰調整対策として緊急対策も加わり、実質的に転作の強化と他用途米の増となり、転作田の活用が農家個々の経済に大きく左右することになるので、その生産基盤づくり推進に意を注いでまいります。

第三に、農業は土づくりが原点であるとの認識から一農家一家畜を奨励してまいります。そのため行政と農業団体等が責任と役割を分担し自給飼料の確保や夏山冬里方式を導入し、稲作との複合経営を可能にするため、北鹿畜産基地事業により草地造成（源右エ門沢四・六畝、鳥越八・六畝）と林間放牧場（中小又沢等百四十三畝）を公設民営方式で本年度より着手します。

第四に、農業をとりまく環境は一段と厳しさが増しており、これら多様化する農家の要望に応じて行くためには、

三千円

▽諸支出金〓四千万

▽予備費〓二千円

■簡易水道会計

歳入歳出それぞれ三億五千

三百八十四万八千円で前年度

比二七七・八割の増となり、

懸案の小猿部地区簡易水道事

業費二億五千八百六十九万二

千円を除くとほぼ前年度並み

となります。

(歳入)

▽使用料及び手数料〓六千五

百七十一万五千円

▽国庫支出金〓八千三百五十

万円

▽繰入金〓五千三百二十二万七

千円

▽繰越金〓百万円

▽諸収入〓五十万六千円

▽町債〓一億五千万円

(歳出)

▽衛生費〓三億五千三百三十

四万八千円、内訳は、原水及

び浄水費一千八万二千円、配

水及び給水費五百七十七万三

千円、受託工事費五万五千円、

総係費六千八百十二万九千円、

設備費一千六十一万七千円、

建設事業費二億五千八百六十

九万二千円

▽予備費〓五十万円

■と畜場会計

歳入歳出それぞれ二千八百

四十一万二千円で前年度比三・

五割の伸び率となります。

■宅地開発会計

歳入歳出それぞれ二千三百

四十六万三千円です。

■土地取得会計

歳入歳出それぞれ二千二百

六十七万円でです。

■綴子財産区会計

歳入歳出それぞれ九十二万

九千円です。

■栄財産区会計

歳入歳出それぞれ百四十四

万六千円です。

■坊沢財産区会計

歳入歳出それぞれ百三十二

万七千円です。

■七日市財産区会計

歳入歳出それぞれ百十六万

円でです。

水道事業会計

六十三年年度の業務量は、給

水件数三、一九〇件、年間総

給水量八九八、〇〇〇立方メートル、

一日平均給水量二、四六〇立方

メートルを予定しております。

収益的収入では、事業収益

一億一千四百二十八万円(営

業収益一億一千二百五十九万

二千円、営業外収益百六十八

万八千円)です。

八十三万円(営業費用九千三百四十九万四千円、営業外費用一千七百一十一万六千円、特別損失七十二万円、予備費五十万円)です。

当年度純利益二百四十五万円、未処分利益剰余金二百五十二万七千円が見込まれております。

資本的収入は十八万四千円で固定資産売却代金補償費であり、支出は二千五百四十七万八千円(建設改良費一千百二十二万四千円、企業債償還金一千四百二十五万四千円)です。不足額二千五百二十九万四千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

なお、たな卸資産の購入限度額を一千万円に、一時借入金限度額を一千五百万円に定めました。

決定した条例改正

■鷹巣町職員の勤務時間に関する条例の一部改正

職員の勤務時間を年間を通して、平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は午前八時三十分から午後零時三十分までと定めた。

■議会の議員の報酬及び費用

全町的基盤に立つて広く国内外動向を注視した農協経営が必須であり、農協合併助成法の切れる本年度中に行政としても農協合併促進のため、役職員組合員への啓発活動を強力に推進してまいります。

また内水面漁業振興が地域活性化資源として注目されてきており、引き続き稚魚放流の一部に助成し物心両面から振興を図ってまいります。

農村整備モデル事業は総事業費十一億一千万円で採択の見込みであり、本年度は舟場地区に農業用排水施設(延長千五百九十九メートル、事業費二千三百万円)を予定しております。県営事業で継続中の鷹巣、綴子農免農道、鷹巣、美田古、坊沢排特事業、吉野山村基幹農道、糠沢開拓農道の工事は早期完工に努めるとともに、団体営事業の家向農道(延長五百八十八メートル)は本年度において舗装工事を含め完工の予定であります。

また、現行規模の土地改良区体制では、本来の課題に十分対応出来ないの土地改良区の合併促進の環境づくりを強力に推進してまいります。

今年度の新林構事業は、継続中の林道又右エ門田ノ沢線、岩堰根線、緑地休養施設、新規上舟木沢作業道の開設等を進めてまいります。

林道改良と災害復旧については大摩当線、陣場岱線等五カ所の改良と復旧工事を行います。

また、慶祝森林自然公園(深閑地内)に県営事業として継続中の生活環境保全林事業については、鋭意整備に努めるとともに、植樹祭は同公園地内で四月下旬実施予定です。

(商工課)……数年来、停滞色を強めていた地域経済であります。内需拡大施策などの波及により業種によって明暗はあるものの、木材、建設を中心にやや明るさが見えてきております。しかし、円高関連等による景気の先行き不透明感は依然として消えず、まだまだ厳しい情勢下におかれるものと考えます。こうした中で、この度実施した「鷹巣町広域商業診断」の結果を踏まえ、経営の近代化、商業機能の強化に向け支援対策を進めるとともに、商工会活動を

弁償等に関する条例の一部改正

議員の旅費・日当の改正である。

■鷹巣町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

非常勤特別職の報酬と旅費、日当の改正である。

■地方自治法の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部改正

旅費、日当の改正である。

■特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

旅費の改正である。

■職員等の旅費に関する条例の一部改正

職員の旅費の改正である

■鷹巣町特別会計条例の一部改正

墓地公園特別会計を廃止したものである。

■鷹巣町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の報酬及び出務日当の改正である。

■鷹巣町立幼稚園設置条例の一部改正

町立幼稚園の授業料の改正である。

■鷹巣町議会委員会条例の一部改正

鷹巣町議会の議員の定数を減少する条例改正及び鷹巣町課等設置条例の改正による。

■鷹巣阿仁広域市町村圏組合規約の一部改正

広域交流センターの建設により、完成後の管理運営が委託されることに伴い、規約を改正したものである。

決定した議案

■鷹巣町小猿部地区簡易水道事業の経営について

小猿部地区簡易水道事業の経営認可申請にあたり、給水区域、給水人口、給水量、総事業費、工事期間、財源内訳等の事業計画に関するもの。

採択となった請願

■新型間接税導入反対に関する意見書の採択と送付についての陳情（県商工団体連合会会長・佐々木茂）

決定した意見書

■新型間接税反対に関する意見書

62年度
一般会計補正

一億四千五百三万九千円を補正

赤字バス路線の補助一千五百万円余り

六十二年度一般会計は、一億四千五百三万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ五十四億二千二百五十六万一千円となりました。
(歳入)

▽地方交付税〓八千三百七万四千円を追加
▽分担金及び負担金〓百七十八万六千円を減額
▽国庫支出金〓十四万円追加
▽県支出金〓一千三百九十三

万七千円を追加
▽財産収入〓二百二十二万一千円を追加
▽寄附金〓四十二万七千円を追加
▽繰入金〓百七万二千円追加

始め、地域産業おこし、特産品開発等に対し助成を講じてまいります。

テクノサテライト計画推進としましては、技術者派遣・研修事業、研究開発事業に対し助成措置を講じ新分野、新技術の導入による企業の育成強化に努めてまいります。

中小企業対策として、マル鷹融資制度を始めとする各種制度資金の効率化、円滑化を進めるとともに信用保証協会、商工組合中央金庫に対し、預託金の増額、保証料の補給、出捐金等の資金措置を講じてまいります。

産業祭は、農・工・商が一体となった異業種交流の最大のものであり、地元産品の展示、流通はもとより、地域経済の活性化につながるよう内容の充実に努めてまいります。

八幡平・阿仁・田沢地域大規模リゾート地整備構想や秋田内陸線、森吉山スキー場等を背景とした広域観光圏の中で「大太鼓の館」建設を関係部所と連携を図りながら具体化するとともに、湯の岱温泉利用の増加や利用者ニーズに対応できるよう施設内外の環境整備に努め、保養センターとしての機能を高めてまいります。

労働福祉対策として、労働金庫、労働者信用基金協会などにに対し預託金の増額、出捐金などの資金措置を講じてまいります。

出稼ぎ援護対策としては、安全な就労と健康管理を重点に職業安定所経由による就労、グループ就労を呼びかけるとともに、互助会加入の促進や就労前健康診断の励行を働きかけてまいります。また、グループリーダー研修、出稼相談員による世話活動などを推し進めてまいります。

(建設課)････町道の六十三年度新規補助事業として、七日市松沢線の三ノ渡、与助岱間の拡幅、改良事業を三カ年継続事業で施工の予定であります。中畑、大畑間と小森・七日市線の二八五号線交差点の改良も予定しております。

六十二年度より継続中の米代川河川公園については、テニスコート及び修景工事を予定。葛黒・吉ヶ沢線については、本年度中に改良を完了し六十四年度に全線舗装を予定しております。

▽諸収入〓八千三百五十六万四千円を追加

▽町債〓三千七百六十万円を減額

(歳出)

▽総務費〓一千八百二十三万四千円を追加。主なものは大館市青果魚類卸売(株)運営費補助金二百六十一万七千円、生活バス路線運行費補助金一千五百二十三万六千円、田沢地区簡易水道給水工事補助金百七万二千円を追加、広域圏組合事務費負担金百二十八万九千円を減額。

▽民生費〓二千四百八十一万七千円を追加。主なものは福祉医療給付費一千万円、私立保育所措置費二千万二千円を追加。町社会福祉協議会負担金二百五十万円、私立保育所保母設置費補助金四百七万五千円を減額

▽衛生費〓八千五百四十二万六千円を追加。主なものは森吉町外四カ町村病院組合長期貸付金八千四百二十九万四千円、墓地公園会計繰出金百三十九万四千円の追加

▽農林水産業費〓百七万四千円を減額。主なものは農用地流動化奨励補助金四百七十五万一千円の追加、糠沢地区開拓農道用地四百三十五万一千

円、林構林道用地百七十三万一千円を減額

▽土木費〓一千四百七十万四千円を減額。主なものは都市計画街路事業負担金百二十七万円の追加、道路維持費三百五十万円、道路新設改良費一千二百八十万円を減額。

▽消防費〓三百四十七万円を追加。主なものは広域圏組合消防費負担金二百四十二万八千円の追加。

▽教育費〓三千四百九十七万二千円を追加。主なものは鷹中普通教室塗装工事四百五十万円、広域圏組合保健体育費負担金三千四百三十九万八千円の追加、鷹巣球場改修工事百七万七千円を減額。

▽災害復旧費〓五百五十一万円を減額。

特別会計補正予算

■国民健康保険会計補正

歳入歳出それぞれ七千三百十四万七千円を追加し、総額十一億七千二百七十四万六千円となります。

(歳入)

▽国庫支出金〓二千八百二十八万一千円を追加

▽療養給付費交付金〓三千七十七万五千円を追加

▽繰越金〓一千四百九万一千円を追加

(歳出)

▽保険給付金〓八千一万三千円を追加。主なものは一般被保険者療養給付費三千九百四十四万一千円、退職被保険者等療養給付費三千七十七万五千円、一般被保険者高額療養費一千二百五十万円を追加、助産費三百二十五万円を減額

▽老人保健拠出金〓七百三十六万六千円を減額。

▽諸支出金〓五十万円を追加

■宅地開発会計補正

歳入歳出それぞれ四十八万四千円を追加し、総額一千八百七千円となります。

■土地取得会計補正

歳入歳出それぞれ百七十八万三千円を追加し、総額二百七十八万四千円となります。

■墓地公園会計補正

歳入歳出それぞれ百四万三千円を追加し、総額八百八十八万八千円となります。

■栄財産区会計補正

歳入歳出それぞれ百七万二千円を追加し、総額二百九十二万二千円となります。

■坊沢財産区会計補正

歳入歳出それぞれ三十四万六千円を追加し、総額百九十五万六千円となります。

橋梁については、向黒沢橋の補修を予定しております。また、営林署との合併施行により、西又三号橋、七号橋の架設と永久橋の塗装を計画的に進めます。

(水道課)：上水道事業における収益収支については、収益の大幅な増収見込みがないのに対し、費用面では東鷹巣橋関連の減価償却等維持保全工事費用が高み、厳しい状況にあります。最大の経営努力をしております。

簡易水道事業関係については、かねてより調査中でありました小猿部地区簡易水道事業の実施を予定し、現在認可設計の委託のもとに、沢口地区(中屋敷、小森、七日市地区(本郷以南、松沢にいたる一四集落)を対象として、六十三、六十四年度の二カ年継続事業として実施する予定であり、本工事は経営認可後、六十三年度分として松沢集落から妹尾館集落にいたる施行と各戸給水工事の計画となっております。

(教育委員会)：懸案であった南中学校は付属施設や環境整備等も順調に進捗し一応完了したので、今後は鷹巣中学校、東小学校を優先しながら、各学校の整備を促進し、よりよい教育環境づくりに努めます。

鷹巣中学校が六十二年、六十三年の二カ年にわたる文部省の指定研究校として、本年十月全国規模の公開研究会が開催されます。これを契機とし、町内各学校の学習面の充実を図るとともに、スポーツ面においても今までの伝統を更に高めることができるよう全力を傾注してまいります。

社会教育面では、臨教審の最終答申で生涯学習の充実が求められておりますが、青年・婦人・高齢者の積極的な社会参加を図るとともに、住みよい住民自治を定着させるため、社会教育、社会体育、公民館活動の機能を高めてまいります。特に、体育施設の整備充実を図り、本町民の健康増進のみならず、各種スポーツ大会の誘致、全国の高校、大学のスポーツ合宿の受入れ等積極的に推進します。

また、学習活動の促進とリーダー養成に努め、各地区ごとに自主的に生涯学習活動が展開されるよう指導を強化します。

明るい町を築く町議会議員選挙

3月27日が投票日です

三月三十一日で任期満了となる町議会議員の選挙は、三月二十二日に告示され、三月二十七日に投票が行われます。町議会議員の選挙は、私たちにもっとも身近かで関心のある選挙です。「よりよい暮しや、明日の明るい町はあなたが築く」ということを認識し、正しい一票を投票しましょう。

投票ができる人

町議会議員選挙の登録資格の基準日は三月二十一日です。で基準日の三カ月前の十二月二十一日以前から、当町に

引き続き住んでいる方で、住民基本台帳に登録されている方、および投票日の翌日の三月二十八日までに満二十歳になる方です。

なお、この選挙は、町の議員を選ぶ選挙ですので、投票

日前に当町から転出した場合は、その日から選挙権がなくなります。

午前七時から 投票を開始

二十七日の投票日は、午前七時から午後六時まで、町内二十五カ所で投票が行われますが、つぎの投票所で閉鎖時間がくりあげられます。

▼午後五時まで（一時間くりあげ）＝明利又投票区、竜森投票区、葛黒投票区、坊山投

票区、緑ヶ丘投票区、黒沢投票区、田子ヶ沢投票区、岩谷投票区

不在者投票は 三月二十六日まで

不在者投票は、投票日の三月二十七日に仕事や用事のため、投票所に行って投票できない方のために設けられています。

不在者投票は、選挙が告示される三月二十二日から投票日前日の三月二十六日までの、午前八時三十分から午後五時までです。

不在者投票を行う方は、町選挙管理委員会に対して直接または郵便で請求（指定病院に入院の方は病院長に請求）してください。請求用紙は選挙管理委員会にありますので、出稼などで遠く離れている方は、早めに請求するようにしてください。投票用紙は、告示日の二日前に請求者に郵送します。

郵便による 不在者投票

身体に重度の障害（両下肢一級、二級、心臓障害一級）

（三級等）のある人は、郵便による不在者投票ができますので、投票日の四日前（三月二十三日）までに、郵便投票証明書（提示して請求してください）。

くわしくは、選挙管理委員会に問い合わせください。

開票は 午後七時から

開票は選挙当日の午後七時から中央公民館ホールで行います。結果は午後九時前後に判明の予定です。

開票事務参観については、会場の関係から一定の入場者が入ると、会場を締め切る場合があります。

選挙の 問い合わせ

町議会議員選挙事務執行のため、選挙事務局を役場二階に設けております。

不在者投票や選挙用務の方は、同事務局へおいでください。

なお、事務局に直通電話六十二局三七〇番を設置しましたのでご利用ください。

選挙人名簿定時登録者数 (62. 9. 2 現在)

投票区	男	女	計
鷹巣第1	951	1,100	2,051
鷹巣第2	917	1,123	2,040
鷹巣第3	949	1,122	2,071
南鷹巣	783	871	1,654
摩当	268	296	564
太田	192	195	387
掛泥	392	428	820
綴子	738	841	1,579
田子ヶ沢	94	103	197
岩谷	45	43	88
糠沢	374	391	765
田中	394	419	813
坊沢	599	670	1,269
緑ヶ丘	144	159	303
黒沢	28	30	58
今泉	221	249	470
前山	195	229	424
坊山	82	86	168
小森	214	230	444
沢口	240	260	500
川口	129	135	264
七日市	542	580	1,122
葛黒	135	136	271
竜森	104	102	206
明利又	44	51	95
合計	8,774	9,849	18,623

栄地区の『町長と語る会』

栄地区自治会長会（藤島徳逸会長）では、二月八日午後一時三十分から、栄生活改善センターで「町長と語る会」を開催、各集落や各団体から三十人余りが出席、地域からの要望事項について質疑がなされました。

「語る会」には、町から出川

町長はじめ関係課長等が出席、町長のあいさつのあと、地域から出された二十五項目にわたる要望や意見に対して、町長や関係課長から答弁がなされました。

質疑の主な内容は次のとお

りです。

▽米代川河川敷の畑地利用の継続―建設省の管轄であり、現在利用者は畑地、草地で八七人、面積は一町二反七畝となっており。利用については、一定の使用料の負担が原則とされるし、法律上のこともあり、建設省の意向に従わざるを得ないのではないか。



▽一〇五号バイパスの一部供用開始による通学路の安全確保と道路補修―供用開始により交通量も増えている現状と思われる。米代川堤防を六十三年度において舗装の予定であり、大館方面の車が堤防を通るようになれば安全が確保される。道路補修は雪解け後に対応する。

▽集落内道路の改良促進―道路整備については計画に基づき整備してきているが、用地問題で着工できない箇所もあり、解決次第改良したい。

▽カーブミラーの点検整備―雪解けを待つて点検する。但し、営林署において設置したものがあるので、協議を重ね新設を含めて検討する。

▽遊具の補修―遊具の設置後の維持管理は集落が行うことになっているが、六十三年中に全町の施設にある遊具を点検する。

▽県道大館・鷹巣線の改良工事の内容―現在自衛隊による荒工事中であり、田沢地内は六十三年度の計画となっている。自衛隊による工事の完了後、改良整備する計画である。

▽アメシロ防除と防除機の整備―アメシロの防除で町が行うのは、町の街路樹、町の管理する施設、公園等の樹木である。発生時期が一斉となるので集落内の防除については農協等の機械を利用するなど皆さん方をお願いしたい。

▽東小學校の新築計画―学校建築については一定の補助基準がある。東小の建築は、老朽校舎として建設したい意向であるので、四、五年先の見込みである。用地については現有地が適当と思われる。



町長日誌

出川禮一

2月15日～29日

■15日(月)～23日(火)―今年、町議会議員の改選があり、例年は三月に開催していた定例町議会を、二十日程早く開いた。六十三年度一般会計外各会計の予算、町条例の改正が主であり、いずれも原案どおり可決となった。

■18日(木)―日本下水道協会幹事会及び、秋田市在住大館北秋会に出席。大館北秋会は、昭和三十年代より年一回の会合で、秋田市在住の当都市出身の県庁職員を主に、関係市町村長と行政的懇談、交歓等が目的で開かれ、町出身の職員と業務を知る上で効果が大きかった。十数年前より、秋田市在住者総べてが対象会員となり、いささか焦点がぼけ、大味なものとなり、市町村側としての参加の意義が薄らぎつつある。

■19日(金)―県町村会定期総会及び土地開発公社設立

団体長会議に出席。

■20日(土)―秋田内陸線新車両試乗会。一昨年十一月開業した秋田内陸線の施設車両等は、旧国鉄からの借物であり、二十年以上経過し、老朽の極に達し、時々故障が起り、乗客にご迷惑をかけていましたが、自前の新車両の配置でこの不安が解消された。スピードもアップされ、利用客増にむけ懸命の努力を図ることになった。

■29日(月)―秋田県農林統計協議会及び北鹿支部総会、秋田統計情報事務所及び鷹巣出張所では、各種農林統計刊行物(年間十二種)を県、市町村、農業団体等に配布している。この外北鹿地域に限った生産農業所得、水稻作柄概況、青果物の需給等、新しい資料の提供である。統計は実績であり、これをより大きく計画に活かすべきものである。

「口説き話はもうやめよう」

地域活性化フォーラム＝秋田＝

知恵とアイデアを行動に!!

(財)地域活性化センター・秋田県・鷹巣町主催の「地域活性化フォーラム」が三月三日中央公民館で開催されました。このフォーラムは、東北では仙台に次いで二番目、町としては全国初であり、県内市町村から参集した二百五十人の真摯な姿が見られました。

この中で、出稼ぎ、過疎、豪雪と暗いイメージをぬり変え、町に輝きをもたらした二人の事例講演が、町づくりの一環となるよう要旨を紹介いたします。

一つのアイデアが町を変えた



羽後町牛まつり事務局長
佐藤 正一郎氏

羽後町は鷹巣町に次いで二番目に大きい町で、これといった産業もなく、昔から出稼の町として知られています。今も二軒に一軒は出稼をしており、若者は町を離れ続けてきました。

「なんとかしなければ」という危機感が強くなり「明るいイメージ」「町の顔」を作りたいとみんなで考えた結果、牛が全県一多いことに気がついた。しかし、羽後牛の名前ではなく、他の銘柄で取り引きされていた。この牛をメイ

ンに何かできないかと思案した末、どうせやるならデッサクと、北海道・池田町牛祭りの大きさと、大分・湯布院町のユニークさを盛り込み、名前も「日本三大ベコ祭り」と当方で勝手に付けました。

規模は一万人を想定し、イザ準備。一番先に当日の天気祈るため日本一のテルテル坊主をぶら下げたところ「羽後町でなにか始めるらしい」とマスコミが駆けつけ、話題が話題を呼び当日一万人が集まりました。

町でも予算を計上、当然議会で問題になりましたが町は、「若者に失敗はない、あるのは経験のみだ」と支援してくれました。一年目は赤字でしたが、二年目にはばん回し、今では秋田市内のホテルでデナーや、グルメツアーを受け

入れるなど、いろいろな体験をしております。

そうしているうちに、「手間になる」との感覚が芽ばえ、町内外に「ベコ祭り」が動き出しました。

限らない可能性を求めて

窓口は役場に置き、我々はアイデアや行動と、車の両輪のように連携しております。町の強い姿勢があると町民は敏感に反応するし、自信がわいてきます。

そんな中で、冬のイベント「ゆきトピア七曲」が生まれました。会場の七曲峠は、昔から出稼ぎに出て行く人を見送ったり、子供と別れた「悲しい峠」でありました。「あの四つの峠を滑ったら」ということになったのです。知恵を出し、協力しあって今は、雪深い峠に人々の歓声が聞こえるようになりました。

また、雪国を体験してもらうおうと企画したところ、全国から六十件もの問い合わせがあり、三十人が夜行列車でやって来ました。温泉も名物もなんにもない、ただ雪だけの農家に泊り、なんのもてなしもなかったのに別れの日、駅で

みんな泣きだした。都会の人は、雪国の心根に触れ、本当に感激したのです。

我々秋田県人が持っている素朴な文化をみんなで手をつなぎ、はぐくんできたいと考えております。秋田は昔から足を引く土地柄ですが、同じ東北でも山形は「俺もやるからお前もやれ」、岩手は「俺はできないがお前ガンバレ」、わが秋田は「俺もやらないからお前もやるな」…。県民の意識を少しでも変えないといけない。一番大事な事は、若い芽をどう育てるかだと思います。



会場は全県の「仕事人」で埋まった

愛、あつ、安塚 まちづくり



新潟県安塚町
総務課副課長
八木 勇二氏

「私の町は日本一の雪国です。ビルも工場もありませんが雪と元気な人がたくさんいます」と、子供が堂々作文に書けるような町があってもいいのではないか。私の町は新潟のはずれで長野県に接しています。平地で四割、山沿では六割も雪が降ります。時には、本田にブルトーズを入れ排雪して田植をするような過疎の町です。

合併時には一万人の人口も今は五千を割るところです。しかも、地区のリーダー的な人がぬけるためダメージが大きい。加えて豪雪…。

住民ばかりか行政も口説くようになつた。どうにもならない中で「なんとかしなければ」の声があがった、が方策はない。結果的に自分で開拓するより手はなかった。

そんな中で考えついたので

「後樂園スノーフィステバル」いなか売ります。雪の宅配便です。雪の宅配は魚を入れる発泡スチロールに雪を入れ、九州、四国ついでにテレビ局にも送った。雪だけでは変化がないと山菜を入れたのが新鮮な状態で届いたものだから、さっそくニュースに流れた。それがキツカケで、電話は鳴りっぱなしとなり大忙しでした。

それで気をよくし、今度は雪ダルマの形をした箱で宅配を始めると、マスコミは「雪が売れた」と大きく取り上げました。現在、八品目のメニューで、フルシーズン対応しており、真夏でも冷むぎとセットで大変好評です。

地域の元気がいい

過疎の町ですから、空屋や廃家がたくさんあります。これに目をつけ始めたのが「いなか売ります」です。

これは住んでいただくのが条件で、大きな反響はあったものの現在留まっている方は七世帯だけです。しかし、民

宿やアトリエを開いたり、

数は少ないものの地域に新たな息吹きを与えていただいております。

また、後樂園スノーフィステバルですが、解体前に大イペントをやりたいとの事で、試算したら一億五千万かかる見込みで「こりやダメだ」と思っていたら、大手運送会社が援助してくれ、これに意を強くし、議会の協力も得て、さっそく後樂園に事務所を構え作戦が始まりました。ダンブ四百五十台で雪を運び、ジャンプ台や雪像を作った。都会の人は、雪の手だてを知らない、延八百人の町民が出むいて雪の張り付けから企画、運営すべてやった。

期間中に四十割の町民がバス三十一台を連らね、小学生までもが授業の一環として出かけました。

「大都会のド真中に安塚の雪があるノ」やればできるノ」町民は燃えに燃え大きな自信になりました。

今は胸を張って「日本一、雪の多い町です」と大きな声で言えるようになりこの町に誇りを感じます。

さらにこれらを土台に飛躍したいと思っています。

七日市地内の宅地を分譲中

町では、七日市字寺山下地内の宅地分譲を行いました、現在四区画が残っております。購入ご希望の方は、町内、町外いづれの方でも分譲しますので、財政課管財係（☎62-1111）へ申し込みください。

各区画の面積、価格は次のとおりです。

- ▷ 1号…854.45㎡(258.47坪) 価格 547万円
- ▷ 2号…772.79㎡(233.76坪) " 518万円
- ▷ 3号…643.18㎡(194.60坪) " 451万円
- ▷ 4号…603.66㎡(182.60坪) " 423万円

夜間当番医(夜間診療)の日程表

(午後6時30分～9時)

3月	曜日	医療機関名
16	水	戸嶋産婦人科医院
17	木	近藤医院
18	金	奈良医院
19	土	佐々木産婦人科医院
20	日	北秋中央病院
21	月	藤原医院
22	火	戸嶋医院
23	水	佐藤外科消化器科医院
24	木	盛岡外科医院
25	金	戸嶋産婦人科医院
26	土	北秋中央病院
27	日	近藤医院
28	月	奈良医院
29	火	佐藤外科消化器科医院
30	水	藤原医院
31	木	佐々木産婦人科医院

急患以外は受けません

家庭教育は 幼保の保護者から

学社連携懇談会



学校教育と社会教育がタイアップして、青少年の健全育成に努めようと、ことし二回目の学社連携懇談会が、教育委員会関係職員や町内の小学校長など十八人が出席して、三月四日午後一時三十分から中央公民館式場で開催されました。

家庭は生活の原点であり、そこから人間形成の第一歩が始まり生活は次第に地域社会、学校へと比重を増してきますが、今日の家庭をめぐる状況は、核家族化や婦人の就労、単身赴任などで大きく変化し、地域社会の一体感も希薄にな

っているのが現実です。

こうした変化をふまえ、家庭と地域社会、学校の役割分担や機能を考え直すとともに、好ましい連携が求められています。

一子の入学児童研修を

懇談会では子育てでもっとも大切な、第一子新入学児童をもつ親の研修会を進めようと、意見が交わされました。「入学前の研修会や説明会には一〇〇%の出席率」という反面、「学年が進むほど出席率が悪くなる」。また、PTAの事

業として家庭教育について話し合いを行うが、「もっとも出席してほしい親ほど来てくれない」という現実の厳しさが、学校現場から出されました。

このことから「全校登山に親も参加してもらい話し合いをする」「子供会の事業を利用して家庭教育を行う」「入学前は出席率が良いので、幼稚園や保育園の保護者を対象に家庭教育を実施したら……」「スポーツを通して親の交流と学習を深める」「家庭訪問や学校通信で学校と家庭間の連絡を取り合う」など、学社一体となった家庭教育の必要性について、貴重な意見が出されました。

同懇談会では、次回から学社の連携を深めながら具体的な課題に取り組むため、専門委員会を構成することになりました。

第一子の家庭教育を進めるため、幼稚園や保育園と小学校の連携を深めて、親のつながりを強める委員会と、PTA、公民館、学校や、老人クラブなどが協力しあって、地域の教育力を高める委員会などを構成。具体的な調査を進めながら、方向性を示すことになります。

ふるさと 人物伝

わたなべ かつぞう
渡辺勝蔵

(二八九八—一九八六)

「健康づくりにお手伝いさせて下さい」と、渡辺さんはよく公民館を訪れた。そして誰にでも喜んで指圧をしてくれた。彼は九十歳を過ぎていたが、とても柔らかい手つきで、気持ちよく終ると体全体が軽くなった。指圧講座ではテキストをみんなにわけて家族でやることをすすめて、婦人学級や老人クラブでは報酬は要らないと固くこだわっていた。

昭和五十一年、八十四歳のとき、家族にだまって上京し、日本指圧学校に入学を願ひ出た時、浪越徳治郎校長は驚きかつ心配したが余りの熱心さに入学を許可し、特別指導により三カ月で講習を修了した。

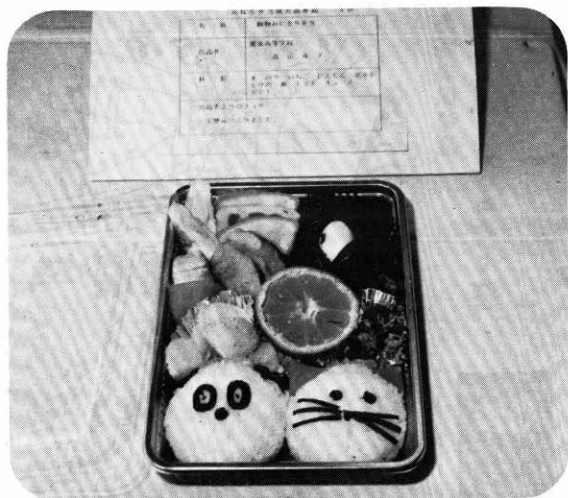
彼はまず昭和部落の人々の疲労回復のため、二カ月にわたり講習をした。効果てき面、評判は高まり方々から要請があり米寿の頃には指導を受けた人が四百人以上にもなっていた。

勝蔵は大曲市花館出身、大正八年に有志と共に南方ハルマヘラ島に渡り、ジャングルを拓き、黄麻の栽培樹脂、澱粉の採取をしていたが終戦となり、引き揚げ昭和部落の開拓に加わる。

そして、開拓組合長、土地改良区理事長の任につき耕地の水田化や酪農導入に献身的に務め成果をあげる。「何ごとも全力をつくせ」とは彼が米寿祝に集まった三十四人の子と孫に与えたことばである。九十三歳没(米寿の記参考)

文責 長崎 久





お昼はやっぱり弁当が一番!

米の消費拡大や健康づくりのための食生活を考える北秋田地方米消費拡大推進大会が、3月5日中央公民館に150人の婦人が参加して開催されました。この中で鷹巣高校生が作った弁当が出品され好評を博しました。出品した40点はいずれも色あいボリュームとも豊かで、訪れた人は感心しておりました。エネルギーは弁当から生まれます。

まもなく入学する子供たちが楽しみにしている「入学おめでとう大会」が3月6日中央公民館で開かれました。この催しは県内各地で行われていますが鷹巣町が一番参加者が多いとのことで、母親に連れられた子供たちでいっぱいになりました。ステージでくり広げられる踊りや演奏に、大きな瞳を輝かせ心は早くも一年生気分でした。

「早く学校に行きたいなア」



「オ～!!かまぐらの権五郎～」

古くから葛黒に伝わる「火祭りかまぐら」が小正月の14日にあたる3月2日、センター裏の田んぼで行われました。この行事は昔、権五郎という火遊び好きな人物がおり、たびたび火事がおこることから権五郎の霊を慰め厄払いをする行事です。天

を焦がすように立ちあがった炎に、子供たちの声がいつまでも山合いの村々にこだましていました。



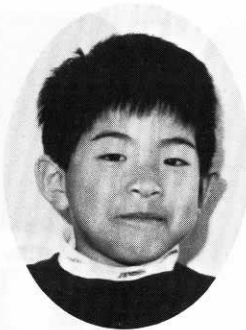
早春の敬老式として知られている田中地区の敬老会が3月6日正午より田中総合センターで開か

れました。自治会が主催して行うもので、今年で22回を迎えました。春の陽気を思わせる天気恵まれ、出席した30人の老人は子供会の歌や、婦人会の手踊りなどのおもてなしに目を細め、一足早い敬老を満喫しておりました。

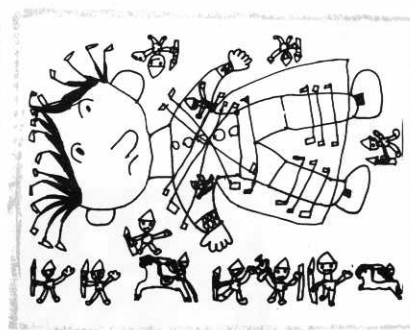
早春に長寿を祝う



の広場



南鷹巣保育園
かわの しげあき(6歳)



私も二十歳になり、一応成人と認められ、選挙権を与えられるわけですが、はつきり言っていないままではあまり選挙に関心がありませんでした。テレビのニュースや新聞などで、当選した人がどんな名前で、どんな顔をしている人

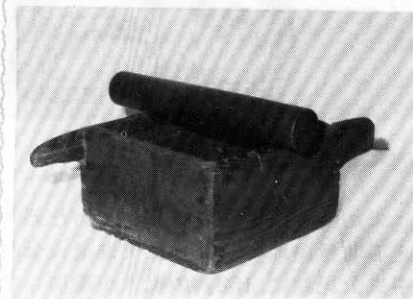


小 森 健悦(20)
神成

社会人としての自覚

今月のテーマ『選挙にのぞむ』

対談 新有権者の声



米を計る 五升ます
(とききで 米俵に入れた)

農家では精米した米を、四斗入りの米俵につめていた。こんな大きなますは珍しく、農家では貴重な道具であった。昔の農家はたいいの道具は大きくて重かった。それだけ自慢でもあった。

(松葉町・佐藤 富雄氏)

なのが見る程度で、別に自分が投票したわけでもないし、どうせ、誰が当選したって変わりはないぐらいしか思いませんでした。

しかし、実際に自分が投票する立場になってみると、いままでの様に他人事の様な考え方ではいられないし、選挙ではどの様な事に注意し、選んで投票したらよいのかとても不安です。

三月二十七日の町議会議員選挙に、初めて有権者として投票するわけですが、それまでに諸先輩方の教えを聞いた



最近スーパー等で、野菜を買っている農家の主婦をよく見かけます。数年前には想像もつかないことでした。鷹巣町はお米と木材を中心にした立派な生産の町であったと思います。

時代の変遷により、町の経済の流れが大幅に変わりつつありますが、そこに住む者として時流に合わせて行かなければなりません。私共洋裁業にも当然その余波

「新しい縫製の町」を夢みて発表

わたしの自慢

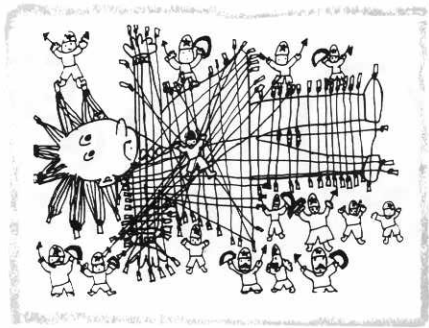
住吉町 成田 知枝(58)

を受け、既製服が豊富に出まわり、従業員は縫製工場へと転職して行きました。

現在首都圏の地方分散が叫ばれている現状であります。当町は縫製の町として県内でも知られ、町の産業としても大きな役割を果たして居ると思います。

そこで私の夢として、行政、洋装オーダーグループ、縫製業と、三者がプロジェクトを結成し、著名デザイナーの聴講など、ファッションの開発を行い、実際の縫製の本拠地とし、共栄共栄のできる鷹巣町を希望したいと思いました。

この事について、去る一月二十五日秋田県商工婦人主張発表会で、幸いにも優秀賞の末席を汚すことになり、誠にありがとうございます。



南鷹巣保育園
はたけやま えりこ(6歳)

みんな



り、自分でも、もっと選挙に興味をもち勉強して、社会人としての自覚をもった投票をしたいと思っています。

ゆとりある生活を期待



旭町 高橋 圭子(20)

私が社会にでてからもうすぐ二年になり、今年成人式を迎えます。

最初の仕事がレジ係でした。お客様相手の仕事ですから、ちよつとした励ましの言葉がともうれしかったり、ちよつとした失敗でクヨクヨしたり、

広報のこり



「卒業生諸君に、はなむけの言葉をひと言…」というときの「はなむけ」は、門出する人への贈り物を意味します。

漢字では「餞」または「饗」と書き、いずれも、すすめ贈る意で「餞別」という漢語は、今なお使われています。

「はなむけ」はもともと「鼻

毎日が緊張の連続でした。

仕事にも慣れ、周りが見えてくると、働く母親の多いのに気付きました。仕事帰りに、大急ぎで買い物を済ませていくお母さん達には、「ゆとり」というものが、あまり感じられませんでした。

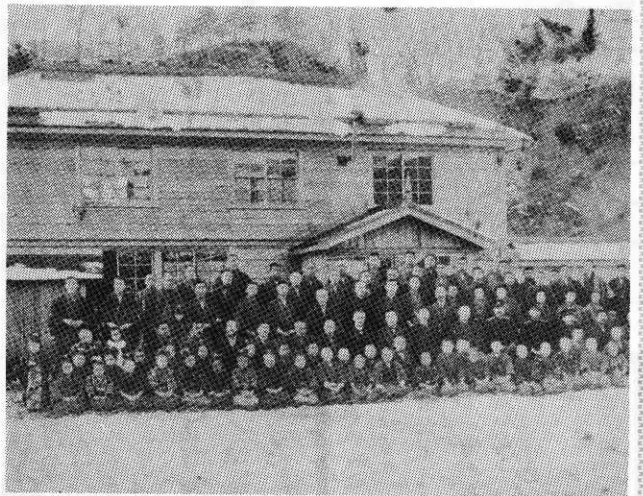
物質的には、こんなに便利になっているのに、精神的「ゆとり」というものが、だんだん少なくなっている気がします。

町議会議員選挙も間近になりました。私には初めての選挙です。町議会には「私達がのびのびと、ゆとりのある生活ができる、町づくりをしてくれる方」になってほしいと思います。

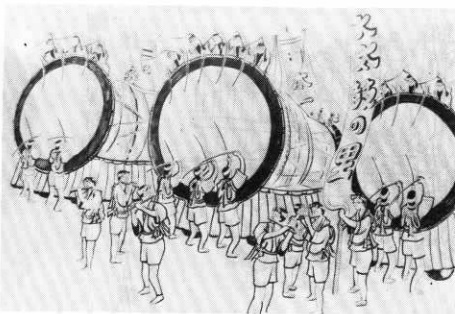
向け」からきた言葉でした。当時は旅行者を見送るとき、目的地のほうへ馬の鼻先を向けて、前途の無事を祈る風習がありました。また、見送る人が馬の鼻を自分のほうへ引き寄せて、早く帰ることを祈ったとする説もあります。後に旅立つ人に金品や詩歌を贈ったり、送別の宴を催すことを指し、「はなむけ」は贈り物そのものを言うようになりまし

写真は、大正8年岩谷分校新校舎竣工記念。岩谷分校は、明治14年に開設され、岩谷、二本杉、西又、東又の集落から通学し、複式学級で授業を行った。現在の校舎は昭和29年に新築され、東又、西又の集団移転などで、昭和54年に廃校され、旧校舎跡地には林業センターが建設されている。

(旭町・佐藤秀雄氏提供)



たかのすの昔



一線美術会運営委員 九島亨二氏

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十三日です。

時間は午前十時から午後三時まで、血圧測定のほか尿検査、体重測定など行います。

◇ ◇

リハビリ学級は十六日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時まで。

※場所はいずれも中央公民館

保健相談室です。

◇ ◇

四カ月児健康診査は二十九日です。

対象は六十二年十一月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後一時から一時三十分まで。

◇ ◇

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十九日です。

対象は六十二年八月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

※場所はいずれも鷹巣保健所です。

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程Ⅱ三月二十二日

▽受付時間Ⅱ午後一時から一時三十分(終了時間三時)

▽妊婦教室内容Ⅱ妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写など

▽持参品Ⅱ印鑑

▽場所Ⅱ中央公民館保健相談室

祝日のゴミ収集

三月二十一日(月)は祝日のため、週二回地区のゴミ収集は休みになります。ゴミを出さないようご協力ください。燃えるゴミ、燃えないゴミの区別を守りましょう。

また、商店、事業所等、事業(営業)から生じるゴミは、収積所に搬出することはできません。保健課から利用券を購入し、町営ゴミ埋立地に運搬してください。

育児相談

子育てに悩みや不安を持つお母さん方を対象に、子どもの健康について「悩み事相談室」を開設します。どんな事でも相談してください。

▽日時Ⅱ三月二十四日午後一

時から一時三十分まで受付
▽場所Ⅱ中央公民館保健相談室

卓球スポ少 団員の募集

卓球協会では、卓球スポーツ少年団員を次の要領で募集しております。

▽対象Ⅱ小学校新四年生の男女児童

▽練習日Ⅱ毎週火曜日(午後五時三十分～七時三十分)

▽会費Ⅱ月五百円

▽申込期日Ⅱ三月三十一日

▽申込先Ⅱ体育館(六六二一三八〇〇)へ

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽田中Ⅱ三沢勇一郎さんから亡弟三治郎さんの香典返し

▽あけぼの町Ⅱ齋藤守さんから亡母ハルエさんの香典返し

▽糠沢Ⅱ出川吉弘さんから亡

昭和六十二年度国民年金保険料の 納期限は四月三十日までです

父末吉さんの香典返し

▽掛泥Ⅱ金沢清一さんから亡母ナカさんの香典返し

▽摩当Ⅱ岩谷一郎さんから亡母ジョウさんの香典返し

▽坊沢大町Ⅱ寺田満広さんから亡父由松さんの香典返し

▽小ヶ田Ⅱ山口鶴治さんから亡父鶴松さんの香典返し

▽田中Ⅱ成田博幸さんから亡父米蔵さんの香典返し

▽摩当Ⅱ柳谷喜代治さんから亡母ハルさんの香典返し

▽糠沢Ⅱ小林誠孝さんから亡母キセさんの香典返し

慶弔だより

2月16日～2月29日
■誕生おめでとうございます

藤嶋 祐輝(悟) 長男(舟見町)

落合 俊(均) 長男(掛泥)

堀部 安奈(英徳) 長女(南鷹巣)

おくやみ申しあげます

岩谷ジョウ(76歳) 摩当

藤嶋 定吉(75歳) 材木町

山口 鶴松(83歳) 小ヶ田

小林 キセ(82歳) 糠沢

柳谷 ハル(83歳) 摩当

籾内 ハル(90歳) 今泉

千葉 耕三(77歳) 小森